



## 実践団体情報 (1 団体あたり 1 回だけ記入する内容です)

必要に応じてセル(表の枠)の高さを調整していただいて構いません

記入日	西暦 2022 年 1 月 18 日 (2022 年度のチャレンジプラン)
実践団体名	糸魚川ジオパーク協議会
代表者名	会長 米田 徹
プラン全体のタイトル 内容を端的に示し、中身を見たくするタイトルをつけてください。計画時のタイトルと同じである必要はありません	活火山の新潟焼山を知る！楽しむ！備える！プロジェクト ～ボトムアップの防災学習実践～
電話番号	025-552-1511
メールアドレス	<a href="mailto:geopark@city.itoigawa.lg.jp">geopark@city.itoigawa.lg.jp</a>
実践団体の説明 団体の来歴や特徴などを書いてください	新潟県糸魚川市は、フォッサマグナや国石ヒスイなど自然環境に恵まれ、2009 年に日本で初めて世界ジオパークの一つに認定された、自然・文化資源を「調べる・守る・伝える」ことを目的としたジオパーク活動に取り組む団体。
所属メンバー 団体のメンバーについてお名前やご所属、役割などを差し支えない範囲で書いてください	糸魚川市や新潟県など行政と地域の団体や事業者が参加している。
活動地域 〇〇地方・〇〇校区など活動地域の範囲に合わせて記載してください。活動範囲が小さい場合には都道府県名など場所が特定できる情報を入れてください	新潟県糸魚川市を中心とした地域
活動開始時期・結成時期	2007 年の日本ジオパーク認定前から活動
過去の活動履歴・受賞歴 これまで行ってきた活動や受賞歴(チャレンジプラン以外も含む)をご記入ください	2017 年に世界ジオパーク再認定。出前講座や講演会、地域でのボトムアップ活動などを実施。

プラン全体の概要	<p>糸魚川市にある新潟焼山は、2016 年に小規模な噴火が発生した気象庁の常時観測火山である。学校や地域では、防災教育と避難訓練の一層の必要性が指摘されている。</p> <p>本プランでは、ボトムアップ活動として、児童生徒や地域住民が焼山について楽しみながら知る機会を設け、ハザードマップを利用した集落ごとのきめ細かいワークショップなど地域一体となった防災減災に繋げていく。</p>
----------	--



## プランの年間活動記録

	プランの立案と調整	活動準備	実践活動
4月	活動プラン全体について 内容検討		
5月	活動プラン全体について 内容検討	山の特別展準備作業	
6月		山の特別展準備作業	
7月		山の特別展準備作業	焼山講演会・特別展開催
8月			山の特別展開催
9月			山の特別展開催
10月	高校・地元との打合せ	地元とツアー内容の検討、高校での講義準備	高校でワークショップを開催し講義内容を決定
11月	講義内容調整	外部講師への依頼、紙芝居作家との協力	新潟焼山を対象としたツアーの実施、高校での講義実施
12月	講義内容調整	外部講師への依頼	高校での講義と紙芝居の作成
1月	発表に関する打合せ、集落への防災学習の調整	消防・気象台と防災学習の内容について検討	高校での講義と紙芝居の作成、発表資料作成
2月	集落への防災学習の調整	集落での活動準備	学習内容の発表 集落での防災学習の実施
3月	集落への防災学習の調整	集落での活動準備	集落での防災学習の実施

プラン全体の反省点・課題・感想	コロナ禍の中での活動ということもあり、夏にかけてツアーや学校での活動が大きく制限された1年間だった。その中で、Zoomなどを活用し、ジオパークのネットワークを活用し幅広い人材と交流できたことは次に繋がると考えている。
今後の活動予定	この活動を契機に糸魚川白嶺高校とは防災学習に関する連携協定を締結することができ、継続して学びを深めていけるようになった。早川谷の全集落を対象とした防災学習は、数年単位で実施を進めていきたい。